



### 9月2日は『宝くじの日』 起源・歴史・目的を調査！？

9月2日は、9(く)2(じ)の語呂合わせで『宝くじの日』です。いつごろ制定されたのか？ 宝くじの起源や歴史、目的とは…？ その気になる秘密に迫ってみましょう！



宝くじの日は1967(昭和42)年に制定されました。制定された理由はちょっと変わっていて、なんと宝くじの時効を防ぐため。当選発表を楽しみにしている方にとっては嘘みたいな話ですが、せっかく当選しているのに、時効になってしまう宝くじが大変多いのだそうです。「手元の宝くじの当選を確認しましたか？」という問いかけの意味を込めて、「宝くじの日」が生まれたんですね。また「宝くじの日」には、過去1年分のはずれ券を対象にしたお楽しみ抽選が行われています。この取り組みも「再度宝くじの存在や番号をチェックしてほしい」という思いが込められています。

現在、宝くじは世界中の国で発行されていますが、その起源は2000年以上前まで遡るほど、長い歴史があります。日本でその起源は江戸時代初期。箕面山瀧安寺で元旦～7日までに参拝した人を対象に、名前が書かれた木札を引き、お守りを授けたのが始まりだそうです。当時は「富くじ」と呼ばれ、やがてお守りから金銭がもらえる形へ変わっていききました。

その後、政府が軍事費を賄う富くじ発行などを経て、戦後の財政を立て直すために「宝くじ」が登場。数字が書かれた宝くじだけでなく、近年はスクラッチやナンバーズといった新しいタイプのくじも増え、楽しみ方が多様化しています。宝くじの存在意義は“ただの娯楽”ではありません。かつて軍事費や国の財政へ売り上げを充てていたように、現在も復興支援や緑化支援など、様々な目的で宝くじが販売されています。

近年では「東日本大震災復興宝くじ」や「熊本地震被災地支援宝くじ」などがその例です。購入された方も多いのではないのでしょうか？一攫千金の夢を見ながら、一方で困っている人を支援することができる寄付的要素を持っているわけですね。では年末ジャンボなどの、復興支援といった名目がない宝くじの売上は、何に使われているのでしょうか？ これらの宝くじも、その収益は全国都道府県へ届けられ、少子高齢化対策や防災対策、教育や福祉などの公共事業に使われています。令和元年度の宝くじ売り上げは、およそ8,000億円。そのうち約3,500億円が当せん金、約1,000億円が印刷や販売などの経費、約3,000億円が公共事業、約100億円が社会貢献広報費として活用されているそうです。

### Microsoft Edge 『コレクション』機能の使い方



Microsoft Edgeには、従来の☆(お気に入り)ボタンの隣に☰(コレクション)ボタンがあります。「コレクション」機能とは、表示中のWebページなどを保存する機能です。カテゴリごとに別のコレクションに分けることもできます。「お気に入り」の機能と似ていますが、その違いは、Webページ内の画像やテキストを保存したり、メモを追加することができることです。

- Webページの保存方法
  - ・保存したいページを開く ⇒ 「コレクション」ボタンをクリック ⇒ 「現在のページを追加」をクリック
  - ・初めて使うときは【新しいコレクションを開始する】をクリックし、コレクション名を入力してからとなります。
- 画像やテキストの保存方法
  - ・保存したい画像やテキストを選択する ⇒ 右クリック ⇒ 「コレクションに追加」をクリック ⇒ 保存するコレクションを選択または新規作成
  - ・メモを残したい場合は、右上の📄(メモの追加)をクリックすると入力画面が表示されます。

★チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など  
デザイン制作・印刷 お任せ下さい!!

★ホームページ制作お任せ下さい!!  
オリジナルデザインで「更新しやすいホームページを！」  
今あるホームページの編集作業もお任せ!!

◎ パソコン本体・周辺機器のご購入やパソコントラブル  
ご相談下さい!

◎ パソコン教室 無料体験実施中!

マデコムのFacebookへの👍 いいね!お待ちしております

## 株式会社 マデコム



〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田659-1  
TEL : 059-366-0888 FAX : 059-366-0877  
E-Mail : office@madecom.co.jp  
URL : https://www.madecom.co.jp  
発行 : 2021年9月1日  
編集・作成 : 早川尚孝

